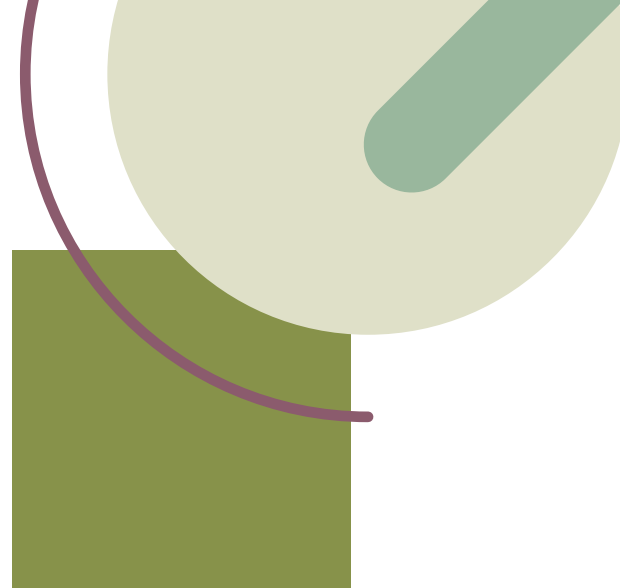
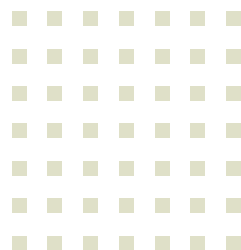
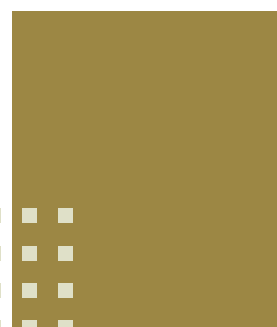
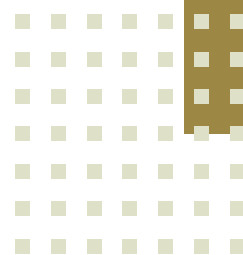




第2次 宿南地区 地域づくり計画

みんなでつくろう！
- ふれあい・学び・助け合いの里 -



目次

01	はじめに ～第2次宿南地区地域づくり計画の見直しによせて～	1
02	宿南地区の概要	2
03	宿南地区の文化・歴史	3
04	宿南地区の現状と地域資源	4
05	これまでの取り組み	5
06	住民アンケート	6-7
07	計画策定に向けた取り組みと計画の構成	8
08	宿南地区自治協議会組織図	9
09	第2次宿南地区地域づくり計画基本理念	10
10	基本方針・具体的活動	
①	安心安全に暮らせる地域	11
②	つながりを大事にする地域	12
③	子育てがしやすい地域	13

地域づくり計画の歩み

2011年(平成23年)	「宿南地区自治協議会」設立 地域と行政が連携し、多世代が参加できる組織として活動開始。
2014年(平成26年)	「第1次地域づくり計画」を策定 地域の持続可能な発展を目指す方向性を示す。
2024年(令和6年)	「第2次地域づくり計画」を策定 計画策定から10年が経過し、これまでの成果の振り返りと、次の10年に向けた新たな計画を策定。

01 はじめに

～第2次宿南地区地域づくり計画の見直しによせて～

ここ宿南の地で暮らしている各家庭には、それぞれの事情があると思います。先祖代々、この地に住み、それを引き継いで住んでいる人、宿南で生まれ一度は宿南を離れたけれど、先の理由で宿南に戻って住んでいる人、宿南ではないところで生まれ育ったけれど、宿南に何かご縁があって、あるいは全く縁が無かったけれど、宿南に住むことになった人など、いろいろな暮らしがあり宿南地区に対する思いもそれぞれだと思います。

昨年、各家庭の一人一人に、宿南の暮らしで感じていることなどをアンケートさせていただきました。普段は、日々の生活に追われ、地域のことを考える機会は少ないと思いますが、アンケートでいろいろな設問に答える中で、地域のことを考えるきっかけになったことと思います。

今、私たちが暮らす宿南には、江戸末期から明治にかけて近代国家を立ち上げていく中で活躍した偉人が、ここ宿南の青谿書院で、池田草庵先生の元で学んだ人たちであることを知ると、感慨深いものがあります。過去のこととは過去のことと割り切ってしまうと、それまでですが、今ここで暮らす私たちが、いずれは過去の人となっていくと思います。温故知新ということわざがありますが、宿南の魅力を知り、後世にその魅力を伝え、暮らしやすい魅力ある地域にしていくことが、今の私たちの役目だと思います。時代と共に考え方も変わり、状況も変わってきます。人口がどんどん減っていくのは全国的な傾向ではありますが、宿南に暮らす魅力があれば、人がどんどん減ることはないと思います。地域に住む人が減れば地域の力も弱くなっていきます。やりたいと思うこともできなくなれば、魅力も減ってきます。まず、住んでいる人が魅力的な場所だと思える事が大切です。そうなるように地域の皆さんが力を合わせられるような機会、関係を作っていくことも大切です。

前回の計画から10年経過し、その計画を振り返り、今回のアンケート結果や意見交換会を元に、これから10年先に向けた計画を立てました。

計画を作ることが目的でなく、それを実行していくためのチェック表だと考えて、計画が進んでいるか？実行しているか？毎月チェックできるような体制も考えていきます。この計画書に基づき、行動して、見直して、地域がより良くなるように考え、また行動をしていくことで、これからの子供たちへ魅力ある宿南を残していきましょう。

令和7年3月

宿南地区自治協議会 会長 維田 浩之

02 宿南地区の概要

■ 宿南の位置と集落

宿南地区は養父市の最北東部に位置し、豊岡市に接する位置にあります。各集落は国道312号沿いに点在する5集落、山間部の3集落で構成されています。また、円山川や三谷川、青山川が流れ、山々に囲まれた緑豊かな中山間地域です。



■ 宿南地区の人口・世帯数

住民基本台帳 2024年12月31日現在
(下欄: 2014年4月1日)

区名	世帯数	人口	65歳以上人口	高齢化率	65歳以上世帯	高齢者世帯率
寄宮	41	90	42	46.7%	17	41.5%
	35	101	35	34.7%	—	—
町	29	76	31	40.8%	11	37.9%
	29	95	35	36.8%	—	—
川東	99	242	94	38.8%	37	37.4%
	102	291	73	25.1%	—	—
川西	41	96	36	37.5%	18	43.9%
	46	134	52	38.8%	—	—
門前	37	100	39	39.0%	15	40.5%
	37	129	44	34.1%	—	—
奥三谷	7	15	9	60.0%	4	57.1%
	12	31	12	38.7%	—	—
口三谷	5	10	5	50.0%	1	20.0%
	6	15	8	53.3%	—	—
青山	11	15	11	73.3%	8	72.7%
	15	34	18	52.9%	—	—
計	270	644	267	41.5%	111	41.1%
	282	830	277	33.4%	—	—

03 宿南地区の文化・歴史

■ 池田草庵と青谿書院

川西区には、幕末～明治初期の儒学者「池田草庵」の生家跡、門前区には、池田草庵の私塾「青谿書院」があります。養父市内の小中学校では、毎月「そうあんくんの日」を決め、池田草庵の教えをもとに「自主」「自律」「自立」の生き方を身に付ける取り組みをしており、宿南地区でもその教えが根付いています。

平成26年度には「池田草庵」生誕200年を機に、「そうあんくん」というキャラクターを制作し地域の「ふるさと教育の推進」、「学びの里 宿南」を情報発信し、地域の活性化へ結びつける活動をしています。



■ 宿南の災害

平成16年、台風23号による洪水は、円山川の逆流により、流域に大きな被害をもたらし、宿南地区も床上浸水127件、床下浸水11件、計138件の浸水被害とその他多くの被害を受けました。このときの2日間の降雨は、40年に一度の確率でしか降らないような大雨でした。この水害を機に、平成17年1月、宿南地区水害対策促進期成同盟会が設立されました。三谷川・青山川の水害対策工事が進められ、平成27年に青山川の樋門が完成しました。



04 宿南地区の現状と地域資源

現状

産業	地域内に滑石業、薬品業などもありますが、それ以外にこれといった産業はなく、住民のほとんどがサラリーマンとの兼業農家で養父市をはじめ、朝来市や豊岡市などで働いています。
農業	国道312号沿いに整備された広大な農地があり、宿南営農組合等の耕作により放棄田が減少していきました。しかし農業者の高齢化が進み、今後の後継者問題が心配されています。
移動手段	「ふれあいバス」は、利用者の減少や運転手の後継者問題などもあり、新たな運営方法が検討されています。
宿南小学校	全児童27人で一部複式学級になっています。里山体験学習など小規模校ならではの地域と密着した独自の授業を行っています。しかし10年前に比べて児童数が4割程度減少しており、今後は学舎制なども検討されています。
プロジェクトグループ	令和元年に兵庫県の戦略的移住推進事業に取り組んだ際に誕生した有志グループ「学びの里宿南プロジェクト」「癒しの里山プロジェクト」「魅力発信プロジェクト」「空き家清掃プロジェクト」があります。部会とは別に有志が集まってそれぞれの活動を行っています。

地域資源

宿南 ふれあい倶楽部	「宿南ふれあい倶楽部」は、平成11年に大庄屋（おおしょうや）住宅だった建物を福祉コミュニティ施設として整備されたものです。以後、ミニデイサービスや各種催しなどがより盛んになり、高齢者のみならず多種多様な方が訪れる地域の交流拠点として、住民から親しまれています。 また、有事の際には避難場所としても活用し、交流だけでなく防災の拠点にもなっています。 この施設は平成22年に兵庫県の県民交流広場事業を活用し改修工事を行い、より機能的で使いやすい施設となりました。
青谿書院	青谿書院は、本館、資料館があり池田草庵の功績を学びに多くの人が来館されます。令和6年度には交流館が整備され、今後さらに青谿書院の活用が期待されます。

05 これまでの取り組み

地域を守る活動

- ・地域防災活動〈自治振興部・地域づくり部〉
- ・自家用有償バス(ふれあい号)〈自治振興部〉

交流の事業

- ・健康講演会〈福祉部〉
- ・喫茶ひまわり(毎週月・木曜日営業)〈福祉部〉
- ・ひまわりカフェ(随時)〈福祉部〉
- ・ふれあいの日(毎月1回)〈福祉部〉
- ・交流ミニデイ〈福祉部〉
- ・宿南地区総合運動会(地区対抗)〈体育部〉
- ・宿南村民号〈体育部〉
- ・ボウリング大会(年2回)〈体育部〉
- ・ラジオ体操〈体育部〉
- ・盆踊り大会〈文化部〉
- ・宿南地区文化祭〈文化部〉
- ・落語会〈福祉部〉
- ・さくら祭り(春の会)〈福祉部〉

地域美化活動

- ・宿南地区クリーン作戦〈自治振興部〉
- ・ふれあい倶楽部環境美化〈福祉部〉

水害対策〈自治振興部・地域づくり部〉

営農組合活動〈地域づくり部〉

水利組合活動〈地域づくり部〉

人権学習会〈自治振興部〉

移住定住促進事業

- ・お試し住居の設置〈自治振興部〉

宿南小学校連携事業(子育て支援)

- ・児童減対策委員会〈自治振興部〉
小学生がいる家庭のU・Iターン者祝い金制度
- ・体験学習受け入れ

情報発信

- ・ホームページの運営〈広報委員会〉
- ・広報誌「ふるさと宿南」の発行(毎月)〈広報委員会〉

池田草庵先生顕彰事業

- ・池田草庵生誕200年記念「そうあん祭り」
- ・池田草庵先生の銅像制作
- ・ゆるキャラ制作(そうあんくんの着ぐるみや歌、踊り)
- ・そうあんくん紙芝居
- ・夏の青谿書院塾

06 住民アンケート

宿南地区に住む小学5年生以上の全住民を対象に宿南地区の魅力や宿南地区での暮らし方についてアンケートをおこないました。小学5年生から高校生までと19歳以上の2種類のアンケートを用意しました。回答率84%(配布数533、回収数449)でした。

住みやすさ

Q 「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた人は、どのようなところに住みやすさを感じていますか。(複数回答)

- | | |
|---|---|
| ☐ 安心、安全な地域である(191人) | ☐ 郵便局(入出金できる)がある(37人) |
| ☐ 自然環境が良い(184人) | ☐ 道路事情が良い(35人) |
| ☐ 宿南地区内にこども園、小学校がある(97人) | ☐ ふれあいバスがあり、移動手段も安心(18人) |
| ☐ 近所付き合いがしやすい(70人) | ☐ その他 |
| ☐ 子育て環境が良い(38人) | |

Q 宿南に住んでいていいと思うことは何ですか(小5～高3まで回答)

- | | |
|--|--|
| ☐ 自然がたくさんあって、外で遊ぶのが楽しい(14人) | ☐ 良友会のイベントや里山遊び(ツリーハウスなど) |
| ☐ 友達全員の顔がわかるので、安心して遊べる(13人) | 大人も一緒に楽しめる遊びがあり楽しい(6人) |
| ☐ 学校の友達といつも一緒に遊べるのが楽しい(10人) | ☐ その他(2人) |
| ☐ 自治協や地区の行事などがたくさんあり楽しい(6人) | |

自然環境の良さ、安心安全な地域であること、人の優しさ・親切さ、子育てに対して理解のある地域であることが宿南地区の特徴と言えます。

地域内に買い物するところが少ないものの、市内の他の地域に比べて国道や北近畿豊岡自動車道の乗り口が近いことなど自家用車を持つ世代には便利な地域であることが住みやすさにつながっています。

地域のつながり

Q 各区行事や自治協・地区内で開催される行事に参加していますか。参加したことのあつものに全てに○をつけてください。

- | | | |
|--|--|--|
| ☐ 日役や公民館の清掃など(289人) | ☐ クリスマス会(92人) | ☐ やちゃ踊り保存会(25人) |
| ☐ 各区内の祭りやイベント(248人) | ☐ 村民号(79人) | ☐ 里山整備事業(22人) |
| ☐ 文化祭(217人) | ☐ 喫茶ひまわり(73人) | ☐ こども青谿書院塾(9人) |
| ☐ 各区内の団体のイベント(157人) | ☐ 毎日元気にクラス(29人) | |
| ☐ 盆踊り(154人) | ☐ ふれあいの日(28人) | |

Q 各区行事、地区行事に参加しない、できない理由はなんですか。

- | | | |
|---|--|---|
| ☐ 仕事(22人) | ☐ 連れがいない(3人) | ☐ 子どもがいて参加しづらい(2人) |
| ☐ 体調が悪い(高齢含む)(15人) | ☐ 出たくない(面倒)(3人) | ☐ 人付き合いが苦手(2人) |
| ☐ 家庭優先(5人) | ☐ 日程が合わない(3人) | ☐ 行事が嫌い(1人) |
| ☐ 興味がない(魅力がない)(3人) | ☐ 移動手段がない(2人) | ☐ 他の家族が出ている(1人) |

地域内の行事も多く、つながりを大事にする地域であることが、「近所付き合いしやすい」「人が優しい」などの魅力につながっていると感じられます。しかし、暮らし方の多様性や高齢から既存の行事の開催の方法や日程では一部の人しか出られないという課題も出てきています。

Q 宿南の農業(家庭菜園を除く)についてお聞きします。 自分の当てはまるものに○をつけてください。

- ☐ 全く興味がない(135人)
- ☐ 農地はあるが、営農組合など他の人に任せている(98人)
- ☐ 現在、農業をしていて、今後10年間は続けていく(36人)
- ☐ 現在、農業をしているが、10年後はおそらくやめている(29人)
- ☐ 現在農業はしていないが、この先10年の間に機会があればやりたいと思っている(24人)
- ☐ 現在農業をしていないが、今後10年の間に始める予定がある(15人)
- ☐ 現在、農業をしているが、2、3年後にはやめるつもりである(14人)

Q 宿南地区がどんな地域になれば良いか。(自由意見より抜粋)

- ☐ 農業の継承をしていく地域
- ☐ 現在の田園風景が保たれた地域
- ☐ 周辺の里山自然環境が整備された地域
- ☐ 災害のない地域
- ☐ 空き家がない地域

宿南の景観を作っている一つである国道312号沿いにある広大な農地の多くは、宿南営農組合をはじめ、大型農業者が耕作しています。しかし、高齢化により草刈りなどの作業が重荷になりつつあります。美しい自然景観を守るためにも、農地を守る後継者を育てることが急務となっています。今後10年以内に農業から離れようと思っている人と今後機会があればやりたいと思っている人をマッチングし後継者になってもらう必要があると考えます。

他にも里山の自然を守ることや空き家の問題など景観に関わる環境の問題に対して対処していく必要があると考えられます。

人口推移

養父市の人口は2020年から2040年にかけて約3割減少すると言われています。宿南地区の人口も養父市同様に推移するとすれば、2040年に400人を切るおそれもあるということです。(養父市HP 人口推移と将来推移人口より算出した計算を元に試算)

このような人口減少が続く中、宿南地区住民の交流を推進していき、各区の垣根をこえた活動をしていくことが、暮らしやすい宿南地区になることに繋がります。

さらに若者のU・Iターンを望む声も多く、若者の移住を促進するために子育てしやすい宿南地区にしていく必要があると考えられます。

宿南地区が求める姿

今ある暮らしを維持するためには、「豊かな自然を守り、安心安全に暮らすこと」「集落の垣根を越えて交流すること」「若者が暮らしやすくU・Iターン者を選んでもらえる地域にすること」が求められています。

10年後の宿南地区を暮らしやすい地域にするために、第2次宿南地区地域づくり計画を策定することにしました。次ページ以降、詳細を提示します。

07 計画策定に向けた取り組みと計画の構成

地域づくり計画策定に向けて、全世帯アンケートや策定委員会、住民有志に会議を重ね「第2次宿南地区地域づくり計画」を策定しました。計画策定のスケジュールは以下のとおりです。

令和6年	1～3月	地域住民アンケートのための有志会議(4回)
	3月25日	アンケート作成ワークショップ
	5～7月	全住民アンケート
	8月26日	第1回 策定委員会(自治振興部部会員を委員として発足)
	10月10日	地域づくり計画意見交換会(若者の移住・定住・子育て)
	10月31日	地域づくり計画意見交換会(交流)
	11月13日	地域づくり計画意見交換会(防犯・防災・景観)
令和7年	1月10日	第2回 策定委員会
	2月6日	第3回 策定委員会
	3月3日	臨時総会

計画の構成

■ 3つの柱

第2次計画策定に際し、全住民を対象としたアンケートを実施した結果、宿南地区の住民が描く10年後の姿が明らかになりました。これを実現するために、但馬聖人の池田草庵が国家のあり方に提唱した「時務六策」にならい、宿南地区では「時務三策」として以下の3つを活動の柱とします。これらのテーマごとに意見交換会を開催し、具体的な計画をまとめました。

※「時務六策」とは、今すべき六つの策

① 安心安全に暮らせる地域

② つながりを大事にする地域

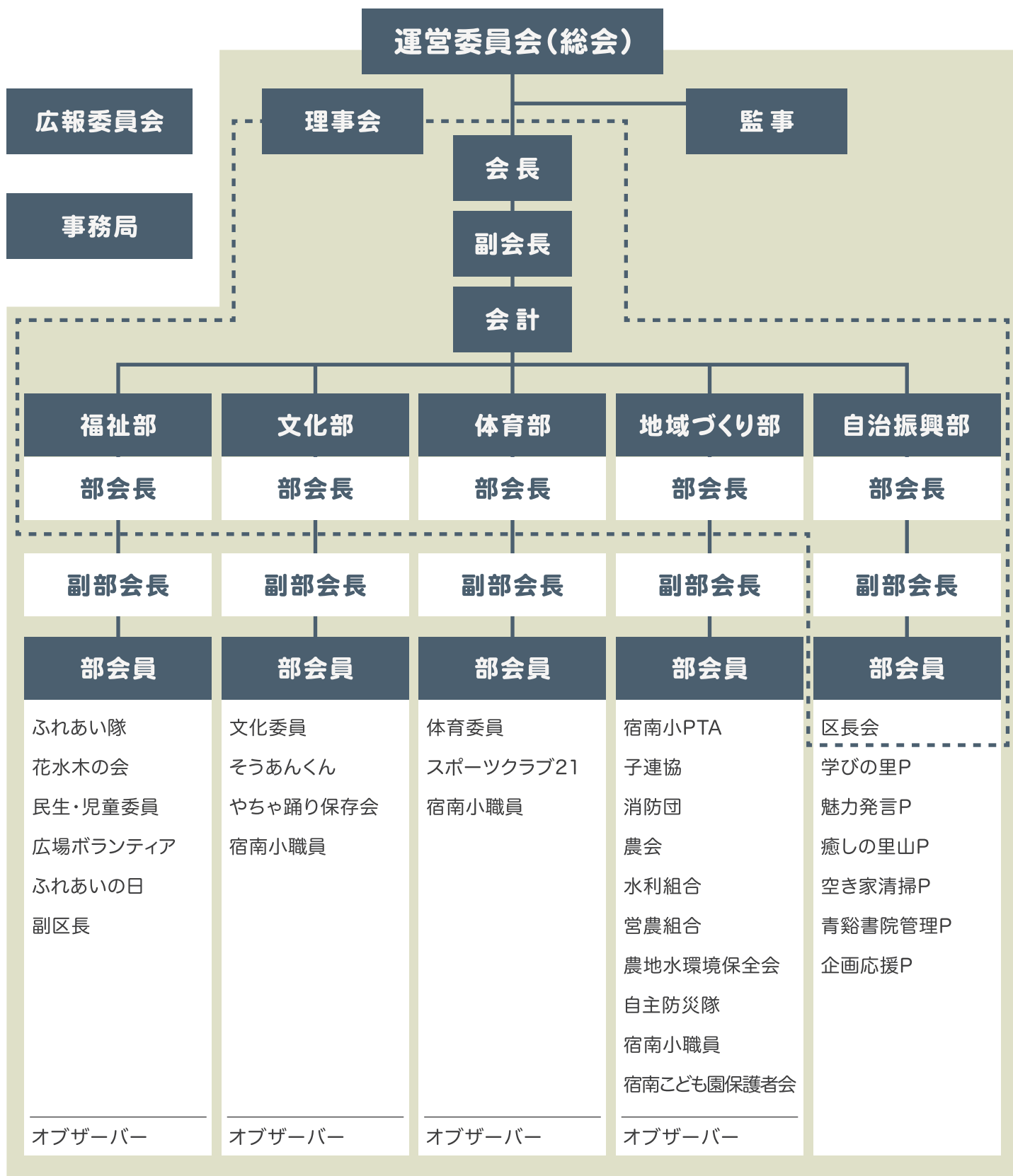
③ 子育てがしやすい地域

■ 計画の実施期間及び、活動の取り組み方について

本計画の期間は、令和7年度から令和16年度までの10年計画とする。ただし、活動計画については、社会情勢や生活環境などの変化に対応することから、3年毎の見直しをはかります。

それぞれの活動ごとに、計画通りにおこなっているかを毎年検証し、10年後に各事項の計画が全て取り組めているように実施します。行政との協働でしか実現しない事象が発生した際には、速やかに宿南地区自治協議会内で検討し、要望するなど適切な対応をはかります。

08 宿南地区自治協議会組織図



09 第2次宿南地区地域づくり計画基本理念

スローガン

みんなで作ろう！
—ふれあい・学び・助け合いの里—

行動指針

話し合おう

自分の意見だけでなく、周りの意見を聞くことで相乗効果を得られたり仲間を見つけたりしよう

行動しよう

自分がやりたいことが、地域の活性化につながる活動になるように地域資源も活用しながら行動しよう

3つの柱

- ① 安心安全に暮らせる地域
- ② つながりを大事にする地域
- ③ 子育てがしやすい地域

考えよう

どうしたら自分の地域がもっと魅力的になるか、困ったことがない暮らしやすい地域になるか考えよう

気づこう

地域に興味をもち、魅力や課題を見つけよう

10 基本方針・具体的活動①



安心安全に暮らせる地域

防犯・防災・景観

基本方針

自然豊かな、安心して暮らせる地域を守る

誰もが安心安全に暮らし、宿南の豊かな自然を後世に残す

事業	具体的活動
防災対策事業	・山林整備や三谷川・青山川の整備など減災につながる活動の継続を宿南地区水害対策促進期成同盟会や関係機関と連携して行う ・防災訓練の継続 ・台風23号被災体験の語り継ぎ
防犯対策事業	・宿南地区で防犯カメラの設置を充実させていく ・こども110番の家がどこにあるか定期的に確認する ・ながらパトロールの実施(車のステッカー、腕章をつけての散歩など) ・地域内道路の安全運転の推進
景観整備事業	・営農組合などの農業者と連携し、後継者の育成など地域農業の継続を支える ・里山整備活動の継続 ・空き家、空き地対策活動
福祉事業	・宿南っ子を守る会、民生委員、福祉委員の連携 ・地域お助け隊の仕組みの検討 ・ふれあいバスなどの交通手段の検討

主な活動検証部会：自治振興部、地域づくり部、福祉部

10 基本方針・具体的活動②



つながりを大事にする地域

交流

基本方針

自分が楽しみ、みんなも一緒に楽しめる地域

自分の楽しみが地域の楽しみへと繋がり、地域交流が自然とできる地域

事業	具体的活動
地域交流事業	・村民号、盆踊り、ボウリング大会、運動会、文化祭など人が集う機会を 継続的行なっていく ・ふれあい喫茶の充実を図る ・多世代が参加できる日程の調整や内容など交流しやすい方法を検討する ・お互いを尊重する文化を築く、人権学習を継続する
自主企画 応援事業	・自主的に企画を運営できる場づくりを推進していく ・地域外交流(宿南生まれの方との交流) ・関係人口の増加を図る

主な活動検証部会：自治振興部、福祉部、文化部、体育部



10 基本方針・具体的活動③



子育てがしやすい地域 | 若者の移住・定住・子育て

基本方針

子どもがのびのびと安心して遊べる地域

子育てしやすい環境の整備を行い、子育て世代同士のつながりを強固にしていくとともに昔からある伝統行事や文化の継承を多世代で行うことで世代間の暮らしやすい姿の共有

事業	具体的活動
子どもの居場所づくり事業	・ふれあい倶楽部を開放する ・地区公民館の開放(宿南地区民誰もが使えるルールづくり) ・小学校校庭等へ子どもだけで安全に行ける環境を整備する
若者の移住定住促進事業	・地域のルールを明文化するなど、若者や移住者にも分かりやすく伝える ・行事や日役など住民が揃って何かをするときには、誰もが参加しやすい広報を心がける ・SNSなどを活用し、若者に地域の魅力を発信する ・空き家、遊休地の情報収集 ・移住者への行政サービス(補助制度等)情報を収集する
伝統文化の継承事業	・地域行事の記録作成 ・行事の映像化 ・行事の継承方法の検討、マニュアル作成等

主な活動検証部会：自治振興部、地域づくり部

宿南地区はココ



宿南地区自治協議会

〒667-0003 兵庫県養父市八鹿町宿南 1187-1

TEL 079-662-3400 FAX 079-660-3261

表紙の写真は、令和5年度 宿南の魅力発見フォトコンテスト入賞作品